

石川県漁海況情報

400号
2018年4月13日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

フクラギ漁・寒ブリ漁・冬期のスルメイカ漁のまとめ

- フクラギの合計水揚量は平年をやや下回り、寒ブリの合計水揚量は平年を下回りました。
- 冬期のスルメイカの合計水揚量は373トンであり、昨年を上回り過去5年平均を下回りました。

水産総合センター・トピックス

- 「石川県青年・女性漁業者交流大会」「水産総合センター公開セミナー」を開催しました。

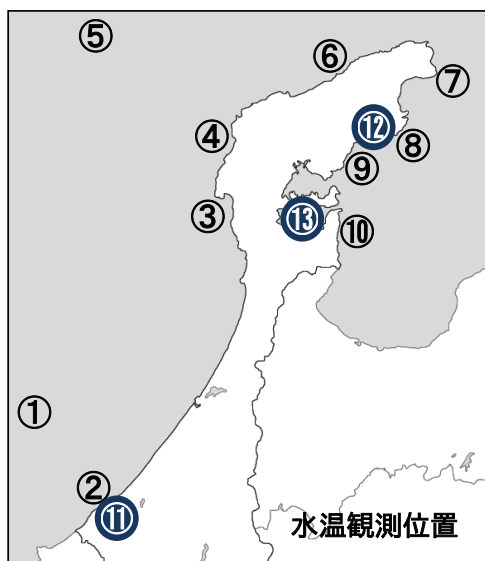
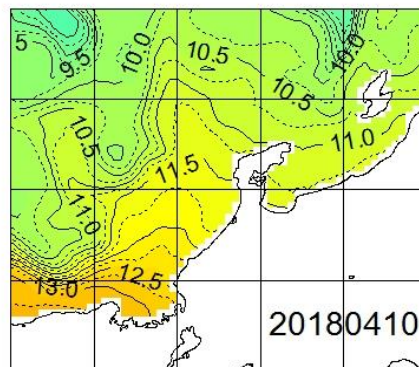
石川県周辺海域の水温（期間:4月6日～10日）

■ **沿岸の海面水温** 4月10日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+0.25℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は10.5～12.3℃で、3月下旬から0.7℃上昇しました。前年同時期との差は-0.6～-0.1℃、過去3年平均との差は-0.5～-0.1℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は10.9～12.2℃で、前年同時期との差は-1.1～-0.3℃、過去3年平均との差は-0.5～-0.4℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 4/6～4/10	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	12.2	データなし	-0.1
② 橋立沿岸	12.3	-0.1	-0.1
③ 富来沿岸	11.4	-0.3	-0.3
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	11.1	-0.6	-0.5
⑥ 萱々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	10.7	-0.4	-0.4
⑧ 小浦沿岸	10.5	-0.3	-0.5
⑨ 鶴川沿岸	10.6	-0.4	-0.5
⑩ 岸端沿岸	10.6	-0.3	-0.1

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

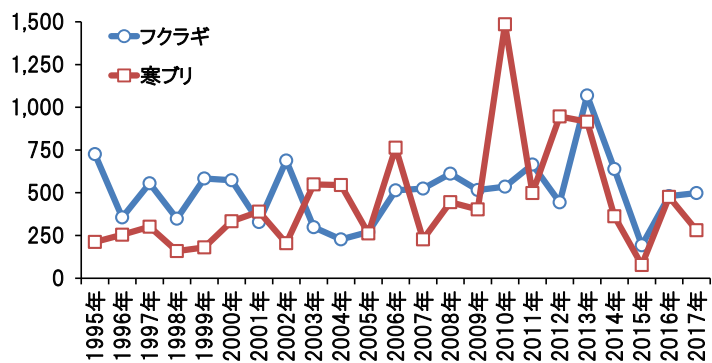
観測位置	5日間平均 4/6～4/10	前年差	過去3年 平均差
① 橋立港	12.2	-1.1	-0.4
② 宇出津港	10.9	-0.3	-0.5
③ 石崎港	12.1	-0.6	-0.5

フクラギ漁および寒ブリ漁のまとめ

■ 今期のフクラギ漁(2017年10月～2018年3月、定置網)は、12月に平年(過去10年平均、以下同じ)を上回ったほかは、平年を下回る低調な漁模様となりました。今期の合計水揚量(速報値)は498トンと、平年(568トン)をやや下回りました。

■ 今期の寒ブリ漁(2017年11月～2018年3月、定置網)は、11月中旬から本格的に始まりましたが、期間を通じて低調に推移しました。今期の合計水揚量(速報値)は281トン(約40,000尾)と平年(583トン)の約半分となりました。サイズ別の尾数を見ると、大ブリ(7kg以上)と中ブリ(7kg未満)が概ね半々でした。しかし、体重10kgを超えるサイズのもの約1,300尾とわずかな水揚げに終わりました。

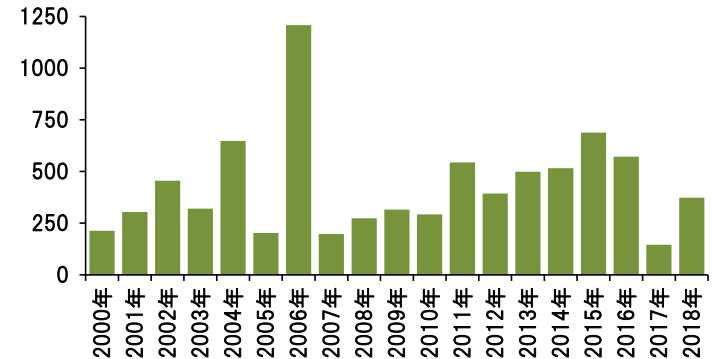
単位(ト) 主要10港の定置網によるフクラギ・寒ブリ水揚量



冬期のスルメイカ漁のまとめ (期間:2018年1月～3月)

■ 今期の定置網による水揚量は373トンであり、昨年(145トン)を上回り、過去5年平均(484トン)を下回りました。漁海況情報392号では、今期の水揚量は過去5年平均を上回ると予想しましたが、予想を下回りました。1月の能登・秋田沖の50m深水温は低く、スルメイカの来遊に好適な条件でしたが、漁獲対象である冬生まれのスルメイカの資源量が低位水準となっており、このため予想を下回ったものと考えられます。

単位(ト) 主要10港の定置網によるスルメイカ水揚量



石川県主要港の水揚状況 (期間:3月16日～31日)

■ **定置網** マアジ・サバ・スルメイカは前年を上回りました。マイワシは2,705トン水揚げされました。1月前半から3月後半までの累計は10,454トンで、前年(1トン)および過去5年平均(1,586トン)を上回りました。

■ **まき網** ブリ主体の水揚げで、前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** フグ類は前年を上回り、ニギス・ハタハタ・アマエビは前年並み、アカガレイ・マダラは前年を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ヤナギバチメ・ブリは前年を上回り、ナマコ・アマエビは前年並み、ベニズワイガニは前年を下回りました。

集計期間 3月16日～3月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし			0.1		408.6	1007.2	1289.3	2705.2	0.8
まあじ					0.8	37.7	33.8	72.4	50.8
さば					19.8	34.6	4.5	58.9	17.4
するめいか					0.0	3.2	23.7	26.9	15.7
かわはぎ(ウマヅラ)			0.1		0.4	2.8	1.4	4.7	2.0
まだら			0.2		0.2	3.1	0.9	4.3	2.6
ほっけ					0.1	0.2	1.7	2.1	
さわら・さごし					0.0	0.7	0.3	1.0	8.5
まだい			0.0		0.1	0.1	0.8	1.0	1.6
ひらめ					0.0	0.3	0.5	0.9	0.7
やりいか					0.1	0.3	0.4	0.8	0.7
かながしら					0.0	0.0	0.7	0.7	1.2
このしろ					0.0	0.1	0.5	0.7	6.2
その他			0.1		0.9	2.2	11.7	14.9	64.5
合計			0.4		431.2	1092.5	1370.3	2894.4	172.6
まき網									
ぶり	—	16.4				—	18.4	34.8	231.1
まいわし	—					—	12.3	12.3	
がんど	—	0.2				—	6.3	6.6	54.5
さば	—				0.8	—		0.8	10.8
その他	—	0.0				—	0.1	0.2	4.1
合計	—	16.7			0.8	—	37.2	54.7	300.5
底びき網・ごち網									
ふぐ類	5.7	4.8	57.5	21.1			—	89.1	27.2
にぎす	1.3	33.1	23.8	0.2	0.3		—	58.7	52.5
あかがれい	27.6	7.5	1.5	7.0	1.2		—	44.8	67.1
はたはた	9.6	4.8	8.2	3.2	6.4	4.2	—	36.4	40.4
あまえび	2.7	19.4	2.4	4.9	2.5		—	32.0	37.4
まだら	0.8	2.2	1.3	8.3	2.2		—	14.7	23.2
みずうお(ノゲンゲ)	0.9	8.2	1.5	0.5	0.4		—	11.5	10.9
あんこう	0.8	1.1	4.9	2.3	0.0		—	9.1	6.4
ずわいがに	0.3	1.3	0.3	2.7	2.3		—	6.9	5.8
その他	10.3	18.7	8.9	13.9	3.1	0.5	—	55.4	68.4
合計	60.0	101.2	110.3	64.1	18.4	4.7	—	358.6	339.3
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		22.7	19.5					42.2	68.7
やなぎばちめ(ウスマール)	0.0		5.0	11.8	0.1	0.5	0.2	17.7	8.8
ぶり				16.5		0.0	0.0	16.6	3.6
なまこ			0.0	0.0	0.2	11.7	2.0	14.0	12.8
あまえび			12.1				0.0	12.1	11.4
がんど				7.6	0.0	0.1		7.8	5.0
まいわし	0.0					0.1	7.4	7.5	0.0
さより				0.7	0.4	1.0	1.0	3.1	1.1
その他	3.3	1.3	7.8	21.6	1.0	15.4	12.2	62.7	102.9
合計	3.3	24.0	44.4	58.3	1.7	28.9	22.9	183.6	214.4
総計	63.3	141.9	155.1	122.4	452.2	1126.1	1430.3	3491.3	1026.8

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

水産総合センター公開セミナーを開催しました

■ 当センターでは、毎年、漁業関係者を対象に研究成果発表会を開催してきました。昨年度はより広く県民の皆様に、日頃の研究成果や活動内容等を知っていただくため、一般の方も参加できる公開セミナーを平成30年3月10日(土)に金沢みなと会館(金沢市無量寺町)で開催し、45名の参加をいただきました。

■ 内容は第一回目ということで、アマエビ、ブリ、加能ガニなど県民になじみの深い魚種について次の演題(括弧内は発表者)で発表しました。

- ① 性転換するアマエビのふしぎ(川畑 達)
- ② 脊椎骨からわかるブリの成長変化(辻 俊宏)
- ③ 冬の味覚の王様、加能ガニ・香箱ガニの資源を守る(四方 崇文)
- ④ カキ、トリガイを育む里海 七尾湾の環境を測る(奥野 充一)
- ⑤ 郷土の食文化を守る ドジョウ養殖への挑戦(石山 尚樹)

■ また、特別講演として石川県立大学の小柳 喬准教授から「石川県の伝統的発酵食品」について発表をしていただきました。

■ 参加者からは今回の内容について概ね満足したとのアンケートの回答をいただきました。センターとしては今後も漁業者をはじめ県民の皆様にあらゆる機会を通じて研究成果や活動内容について報告していきたいと考えております。

■ なお、発表の内容については、今後、この漁海況情報でも逐次報告していく予定です。



石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しました

■ 石川県は石川県漁業協同組合とともに毎年、青年や女性漁業者が水産業の専門知識などを深めたり、意見交換等を通じ交流を促進するために石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しています。昨年度は、平成30年2月17日(土)に石川県水産会館で約100名の参加をいただき開催しました。

■ まず、山田修路参議院議員からは、資源管理や消費動向等、昨今の漁業情勢を踏まえた「漁業の展望」について講演をしていただきました。

■ 次に、経営における収益の多様化や都市との交流促進の観点から、近年、全国的に取り組みが増加している漁業体験について学びました。

■ 当センターから県内の状況について報告するとともに、全国の状況に精通している「海と漁の体験研究所」代表の大浦佳代さんから他県の事例を含め「海の体験交流事業の可能性」と題し講演をしていただきました。

